

鹿児島大学附属病院の木質バイオマス利用による CO₂排出削減量の認証

国立大学法人鹿児島大学では、地球温暖化対策実施計画を定め、省エネルギーへ積極的に取り組んでおり、CO₂排出量削減及び県内の豊かな森林資源から生まれる木材の有効利用を目的として、附属病院内に木質バイオマス（木質チップ）を燃料とする「木質バイオマスチップボイラー」を導入している。

これにより、現在使用しているガス焼き蒸気ボイラー（7基）の運転に係るガス使用量を減少させることにより、化石燃料由来のCO₂排出量の削減を図っている。

1 認証の概要（12件 1, 974 t-CO₂）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
認証量		221t-co2	264t-co2	305t-co2	336t-co2	223t-co2	65t-co2
認証年月日		平成25年8月28日	平成26年8月12日	平成27年8月5日	平成28年8月8日	平成29年6月15日	平成30年5月23日
算定期間		H24.4~H25.3	H25.4~H26.3	H26.4~H27.3	H27.4~H28.3	H28.4~H29.3	H29.4~H30.3
木質バイオマスの使用実績 (木質チップ)	全乾重量	286.70t	341.28t	397.16t	432.51t	290.46t	86.85t
	使用重量	532.33t	557.26t	642.81t	760.56t	469.05t	138.73t
	(平均含水率)	46%	38%	38%	43%	38%	37%
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		50t-co2	69t-co2	93t-co2	117t-co2	115t-co2	116t-co2
		令和元年5月21日	令和2年9月2日	令和3年6月21日	令和4年6月23日	令和5年7月5日	令和6年7月12日
		H30.4~H31.3	H31.4~R2.3	R2.4~R3.3	R3.4~R4.3	R4.4~R5.3	R5.4~R6.3
		68.55t	94.27t	121.93t	152.53t	148.34t	152.40t
		111.13t	157.84t	190.16t	244.53t	245.56t	236.47t
		38%	40%	36%	38%	40%	36%

2 施設等の概要

- ① 木質バイオマスの種類 : 木質チップ
- ② ボイラー等の種類 : 木質バイオマスチップボイラー
- ③ 木質バイオマスボイラーの概要
 - ・ 定格出力 : 1 t / h (換算蒸気量)
 - ・ チップサイロ : コンクリート製 85 m³
 - ・ エネルギーの用途 : 蒸気 (滅菌, 空調, 給湯及び調理等)
 - ・ 導入時期 : 平成24年3月



【木質バイオマスチップボイラー】



【木質チップ】